

(一社)交通工学研究会  
特別会員 御中

(一社)交通工学研究会  
JSTEシンポジウム運営小委員会  
委員長 下川 澄雄

前略 日頃より、一般社団法人 交通工学研究会の各種活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、当会では、当会活動の一層の活性化と地方展開、並びに交通技術水準の全国的な向上を趣旨として、2019年度より「JSTE シンポジウム」を開催しています。昨年度の第5回は、長岡市内を会場として対面及びリモートにて、11月29日(水)～30日(木)の2日間で実施し、全国から610名(行政66名、民間等302名、大学等45名、学生197名)、その他国土交通省、警察庁、都道府県警、地元自治体へのリモート配信として延べ540名の方々にご参加いただきました。詳細は別添の「第5回 JSTE シンポジウムセッション聴講者数・アンケート調査の集計結果」をご参照いただければ幸いです。

JSTE シンポジウムは、交通工学研究会における各種委員会等の講習会やセミナー、ミニシンポジウムなどの企画を併せ持ち、一度に様々な内容を体験することのできる、いわばショーケース的な位置づけのイベントとして、全国の地方都市を巡回し、毎年11～12月頃に開催しています。交通工学に関わる最新の技術動向について情報を得ることができ、交通工学に携わる技術者相互のネットワークを拡げる機会となることを念頭に置いたものです。研究者のみならず、行政機関や民間企業など実務に携わる方々の参加を期待しております。

本年度の第6回JSTEシンポジウムは、昨年度と同様に対面及びリモートにて、2024年11月28日(木)～29日(金)の2日間の日程で、福井市内のフェニックス・プラザ(<http://www2.fctv.ne.jp/~phoenix/>)において開催を予定しています。

本シンポジウムでは、特別会員の皆様の中からスポンサーを募集しております。特別会員各社の取り組みをより広く知っていただくとともに、全国各地における交通工学に携わる実務者、研究者、学生との交流機会として、ご検討いただければ幸いです。

第6回JSTEシンポジウムにおいては、これまでスポンサーとして携わっていただいた特別会員の皆様から頂いた貴重なご意見等を可能な限り反映し、各種セッションの見直しを行うとともに、より多くの方々に参加していただく仕組みを検討しております。具体的には、第3回よりスポンサー企業の若手技術者による新技術に関する取組みや今後の研究・技術開発の見通しなどを発表していただく「若手技術者発表セッション」を開催しています。昨年度より、各社の技術や取組みなどを紹介する「技術紹介セッション」の開催と、当会ホームページでの企業紹介動画の配信を行っています。また、第4回より国土交通省、警察庁、都道府県警、地元自治体にリモート配信を行っています。さらに、昨年度より書式等の要件を満たした発表論文は、次年度の交通工学論文集(特集号)への投稿を可能といたしました。

つきましては、下記についてご了解いただき、スポンサーをお引き受けいただくことが可能であれば、**別紙2**の sponsor 申込みフォームにご記入いただき、2024年6月28日(金)までに、交通工学研究会事務局(担当：北川・植田、[jste-sympo@jste.or.jp](mailto:jste-sympo@jste.or.jp))までメールでご回答いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

記

1. JSTEシンポジウムの概略プログラムとセッション区分

本シンポジウムは、研究論文発表等の一般募集は行わず、企画セッションにより構成されます。企画セッションは、次の3つの区分を予定しています。企画セッションの内容・運営方法は、各セッションの企画者(企業、委員会等)に一任されます。

- 1) **特別会員によるスポンサードセッション**
- 2) 交通工学研究会の各種委員会等によるセッション
- 3) 特別セッション（地元特別セッション，国土交通省セッション，警察庁セッションを予定）

このほか、1日目には、交通工学研究会の活動紹介，技術賞受賞講演，国土交通省・警察庁からの話題提供を含む「全体セッション」ならびに「交流会」を予定しています。また、スポンサーによる「若手技術者発表セッション」と「技術紹介セッション」も企画します(詳細は後述)。

これらの概略プログラムの現時点での案は、**別紙1**のとおりです。今年度より、ランチョンセッションも計画しております。

2. スポンサーの区分

スポンサーとして、次の表に示すA区分とB区分の2つを設定させていただいております。

区分	スポンサー料 (税別) *	企画・登壇可能セッション			展示 ブース の提供 ***	企業 ロゴ の掲載 ****	企業紹介 動画 の配信 *****	機関誌 「交通工学」 への報告記事 の掲載 (シポジウム後)	特別 招待券 (最大) *****
		スポンサード セッション の企画・運営 **	若手技術者 発表 セッション への参加	技術紹介 セッション への参加					
A 区分	¥200,000	○	○	○	○	○	○	○	10枚
B 区分	¥100,000	×	×	○	○	○	○	×	4枚

- \* スポンサー料は、シンポジウム終了後に当研究会から請求させていただき、請求から2ヶ月以内が支払期日になります。
- \*\* スポンサーセッションの企画・運営はA区分のスポンサー企業のみが対象となります。B区分のスポンサー企業複数社(4社以上)において同一テーマで1つのセッションの企画・運営をお考えの場合は、JSTEシンポジウム運営小委員会に別途ご相談ください。
- \*\*\* 展示ブースの提供は、展示ブースのスペース提供を意味します。スペースの活用方法は、スポンサー企業に一任されます。
- \*\*\*\* 企業ロゴの掲載は、シンポジウム広告、ポスター等への企業(スポンサー)ロゴの掲載を意味します。
- \*\*\*\*\* 企業紹介動画の配信は、ホームページでの配信を意味します。シンポジウム会場での放映は、会場の制約条件等がありますので、現時点では未定です。
- \*\*\*\*\* 特別招待券10枚は最大¥158,400に、4枚は最大¥63,360の参加登録費に相当します。

### 3. スポンサーセッションについて(スポンサー区分Aの場合のみ)

A区分のスポンサーとなつていただいた企業様には、上記1.1)の「特別会員によるスポンサーセッション」の企画・運営をお願いします。 交通工学研究会の看板イベントであるJSTEシンポジウムの成功に向けて、お力添えをいただければ幸いです。

スポンサーセッションの主な特徴とお願いは、次の通りです。

- スポンサーセッションは、御社がセッションのスポンサーであることがプログラムに明記されますので、御社の活動と技術力について絶好のアピールの場になることが期待されます。
- スポンサーセッションは、御社の豊富なご経験を活かして、交通工学に関わる時宜を得た集客力のあるセッションの企画、運営をお願いします。このため、御社の事業内容のみを広報する場ではありませんが、御社の取り組まれた興味深い事例の紹介は歓迎します。
- セッションの運営方法として、シンポジウムやパネルディスカッション形式のスペシャルセッション、企画テーマに関する研究発表・実務報告、小講習会などが考えられます。この中では、行政担当者や学識経験者・民間技術者などに話題提供を依頼して進めることも考えられます。昨年度のセッションについては別添の「第5回JSTEシンポジウムセッション聴講者数・アンケート調査の集計結果」をご参照ください。
- スポンサーセッションを実施する特別会員には、まず、セッション企画とセッションオーガナイザーの選定をしていただきます。セッションオーガナイザーを中心に、セッション内プログラム編成、当日のセッション運営、セッション資料の取りまとめ等をお願いします。
- 対面を中心とした開催方式(リモート配信も併用)ですので、セッションオーガナイザーをはじめ登壇者は会場で発表・討議していただくようお願いいたします。
- スポンサーセッションをご担当いただく各社が決まった段階で、セッション企画・運営方法に関する説明と、セッション内容の調整を必要に応じて行うために、スポンサー説明会を実施する予定です。
- 申込み企業が多数の場合や、類似テーマを提案された場合は、調整を行う場合があります。
- 本シンポジウムのプログラムは、登壇者やテーマが重複しないこと等を考慮して調整します。そのため、スポンサーセッションの日付や時間帯に関するご要望には添いかねますこと、ご了承ください。

#### 4. その他セッション等について

##### (1) 若手技術者発表セッション

- A区分のスポンサーを対象にしたセッションです。
- 当該セッションに申込みがあった企業の若手技術者複数名によるセッションです。
- 若手技術者が登壇・発表する貴重な機会として評価されております。
- 他セッションと聴講者が分散しないよう、今年度はランチョンセッション(2日間各1コマを想定)での開催を前提とします。
- 申込み後テーマを募り、後日調整させていただきます(テーマに応じてオーガナイザーを選定します)。テーマと登壇者は最終プログラムに反映されます。

##### (2) 技術紹介セッション

- A区分およびB区分のスポンサーを対象にしたセッションです。
- 当該セッションに申込みがあった企業による技術紹介(各社の技術や取組み等の紹介)を行うセッションです。
- 最新の取組みを紹介できることや、人脈が形成される貴重な機会として評価されております。
- 他セッションと聴講者が分散しないよう、今年度はランチョンセッション(2日間各1コマを想定)での開催を前提とします。
- 聴講するセッションを選択しやすいようキーワードを含む発表タイトルを最終プログラムに反映させるため、9月中(予定)には発表タイトルを決めていただきます。

##### (3) 展示ブース

- A区分およびB区分のスポンサーを対象に、展示ブースのスペースを提供します。
- 展示ブースでは、申込みがあった企業が動画を放映することやパンフレットを配布すること、製品・技術等を展示・紹介することができます。スペースの活用方法は、スポンサー企業に一任されます。
- 製品・技術等を紹介できることや、商談・人脈が形成される貴重な機会として評価されております。
- 展示ブースには机、椅子、電源を準備します。

##### (4) 企業紹介動画

- A区分およびB区分のスポンサーを対象に、企業紹介動画の配信を行います。
- 企業紹介動画では、申込みがあった企業の企業紹介動画をホームページで配信します。
- 研究者や実務者のみでなく、学生にも企業を紹介できる方法として評価されております。
- 現地放映については現在調整中です。

◆お問合せ： 一般社団法人 交通工学研究会 (担当：北川・植田, [jste-sympo@jste.or.jp](mailto:jste-sympo@jste.or.jp))

以上

## 第 6 回 JSTE シンポジウム(福井) 概略プログラム(案)

日程： 2024 年 11 月 28 日(木)～29 日(金)の 2 日間

会場： フェニックス・プラザ (〒910-0018 福井県福井市田原 1 丁目 13 番 6 号)

<http://www2.fctv.ne.jp/~phoenix/>

開始時刻	終了時刻	時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
<b>&lt;第1日目：11/28(木)&gt;</b>						
9:00 受付開始						
9:20	11:00	100	企画セッション1	企画セッション2	企画セッション3	
11:00	11:15	15	休憩			
11:15	12:55	100	全体セッション (第1会場予定)			
12:55	13:10	15	休憩			
13:10	14:10	60	ランチョン4	ランチョン5	ランチョン6	
14:10	14:25	15	休憩			
14:25	16:05	100	企画セッション7	企画セッション8	企画セッション9	
16:05	16:20	15	休憩			
16:20	18:00	100	企画セッション10	企画セッション11	企画セッション12	
18:00	18:30	30	移動・休憩			
18:30	20:00	90	-	-	交流会 (会費制)	
<b>&lt;第2日目：11/29(金)&gt;</b>						
9:00 受付開始						
9:20	11:00	100	企画セッション13	企画セッション14	企画セッション15	
11:00	11:15	15	休憩			
11:15	12:55	100	企画セッション16	企画セッション17	企画セッション18	
12:55	13:10	15	休憩			
13:10	14:10	60	ランチョン19	ランチョン20	ランチョン21	
14:10	14:25	15	休憩			
14:25	16:05	100	企画セッション22	企画セッション23	企画セッション24	
16:05	16:20	15	休憩			
16:20	18:00	100	企画セッション25	企画セッション26	企画セッション27	

- 企画セッションは各100分，ランチョンセッションは各60分

- 企画セッション・ランチョンセッション数27：

国土交通省セッション，警察庁セッション，地元特別セッション，スポンサードセッション，企画セッション(委員会・研究グループ)，若手技術者発表セッション，技術紹介セッションを予定。

- 申込み状況によりセッション数が27を超える場合は，2日目において第4会場の使用も検討。